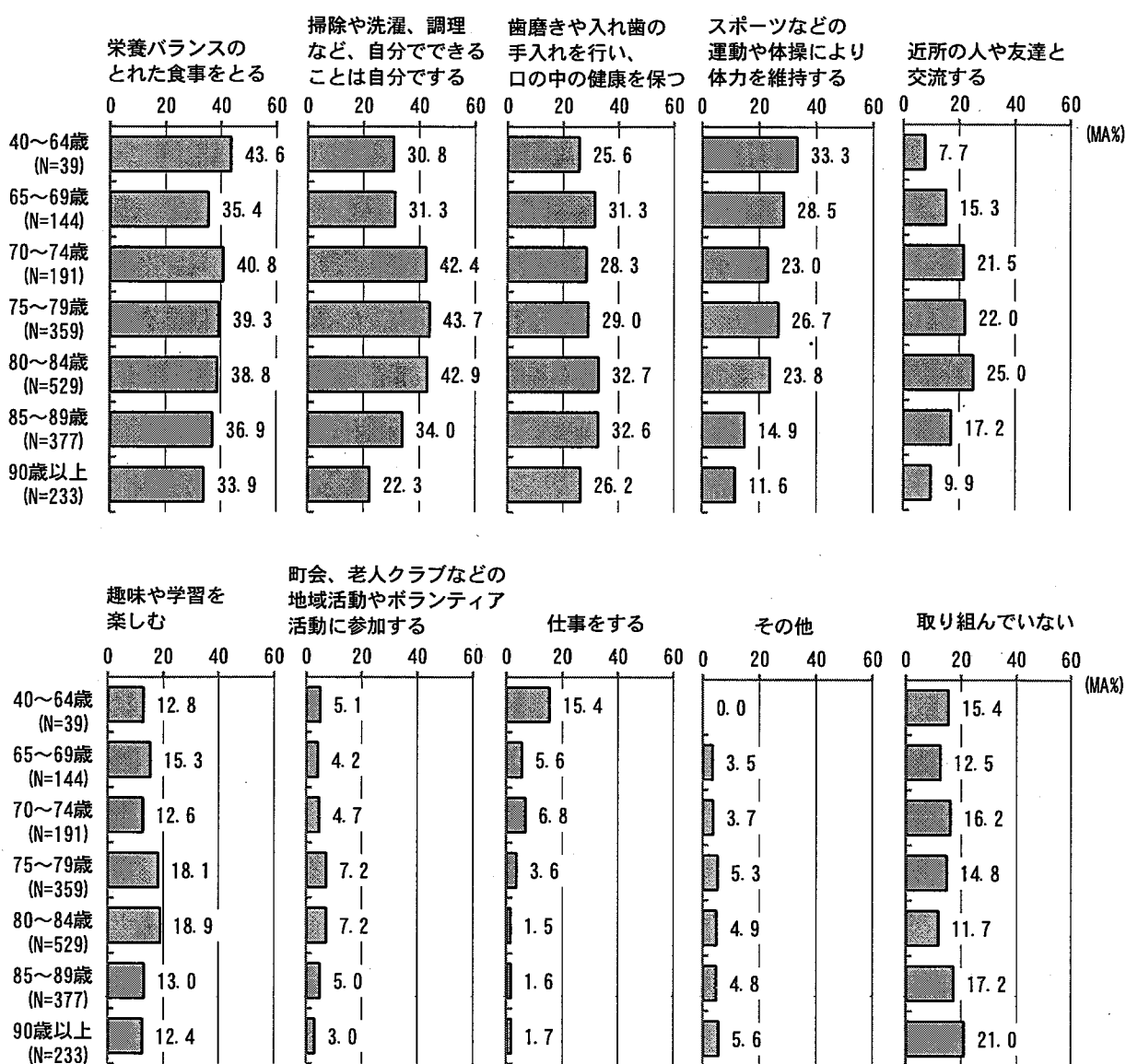


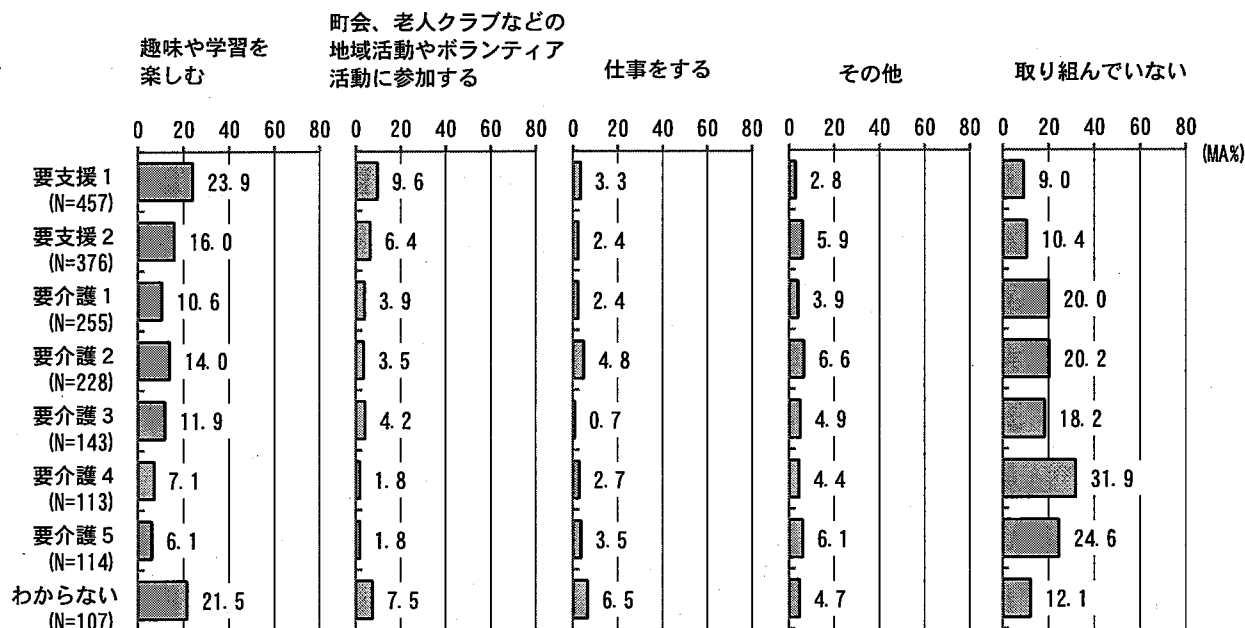
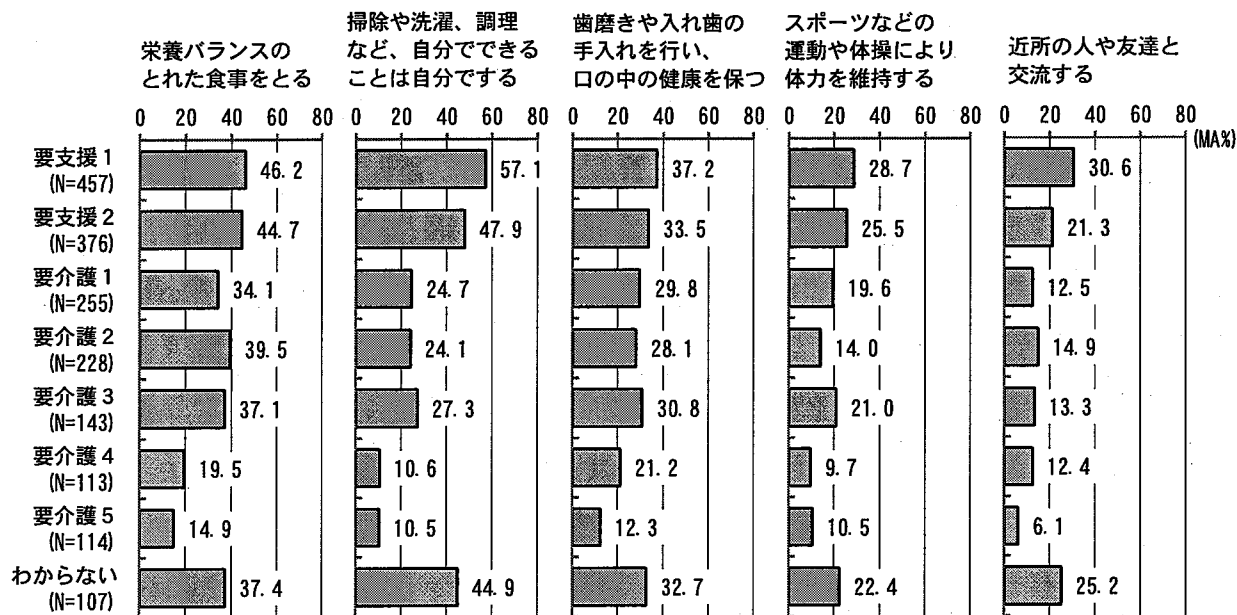
年齢別でみると、40～64歳・65～69歳と85～89歳・90歳以上は「栄養バランスのとれた食事をとる」が、70～74歳・75～79歳・80～84歳は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が、それぞれ最も多くなっている。また、40～64歳は「仕事をする」が15.4%で他の年齢に比べ高くなっている。「スポーツなどの運動や体操により体力を維持する」は高齢になるほど低下傾向にある。「近所の人や友達と交流する」では70～74歳・75～79歳・80～84歳で2割台となっているが、85歳以降になると低下している。(図5-1-1)

【図5-1-1 介護予防としての取り組み（年齢別）】



要介護度別でみると、要支援1・2は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が、要介護1～3は「栄養バランスのとれた食事をとる」が、それぞれ最も多くなっている。しかし、要介護4・5では「取り組んでいない」が最も多く、なかでも要介護4は31.9%と他の要介護度に比べ高くなっている。(図5-1-1)

【図5-1-1 介護予防としての取り組み (要介護度別)】

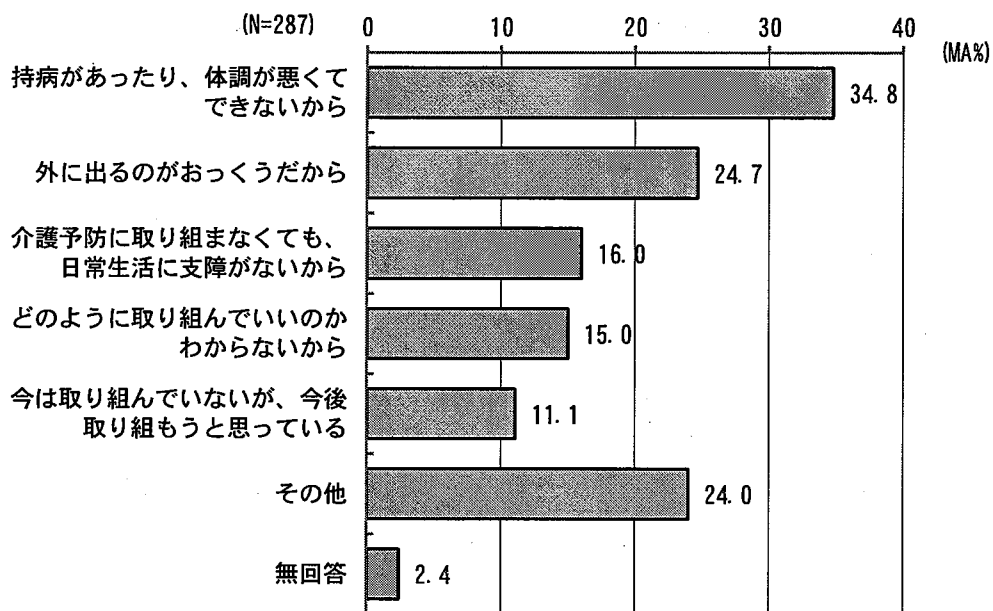


② 介護予防に取り組んでいない理由

【問12で「10 取り組んでいない」に○をつけた方のみお答えください。】

問12-1 あなたが、介護予防について、取り組んでいない理由は何ですか。(○はいくつでも)

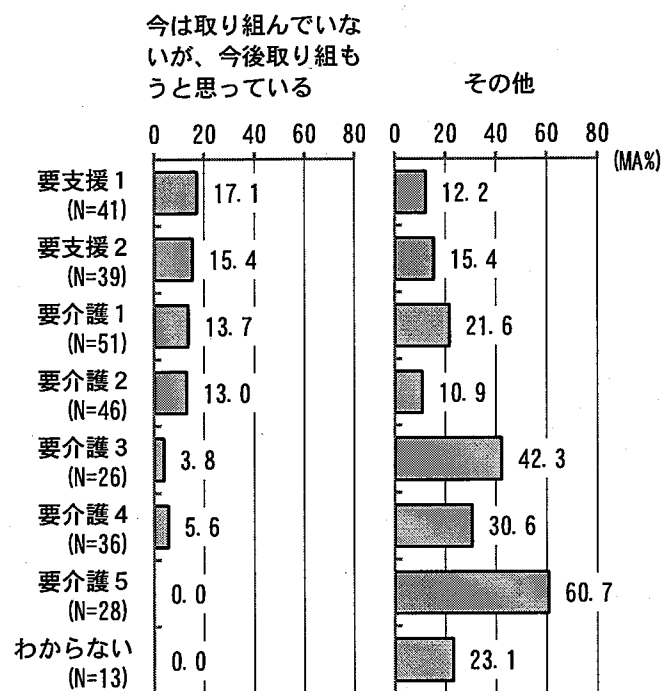
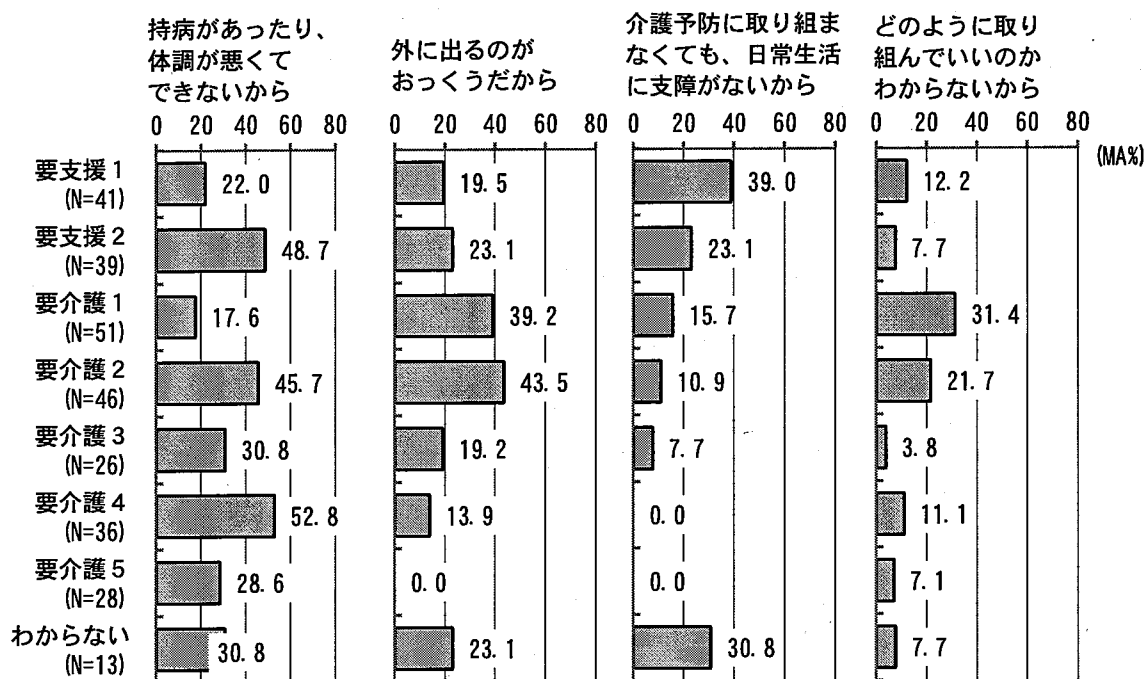
【図5-2 介護予防に取り組んでいない理由】



介護予防に取り組んでいないと回答した人に、その理由をたずねると、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が34.8%で最も多く、次いで「外に出るのがおっくうだから」が24.7%、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が16.0%となっている。(図5-2)

要介護度別でみると、要支援1は「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が、要介護1は「外に出るのがおっくうだから」が、要支援2と要介護2～5は「持病があったり、体調が悪くてできないから」が、それぞれ最も多くなっている。また、要介護1・2では「外に出るのがおっくうだから」と「どのように取り組んでいいのかわからないから」が他の要介護度に比べ高くなっている。(図5-2-1)

【図5-2-1 介護予防に取り組んでいない理由（要介護度別）】



**(6) 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）**

介護保険制度についてのご意見・ご要望等を次の欄に記入してください。



# 介護者調査 編

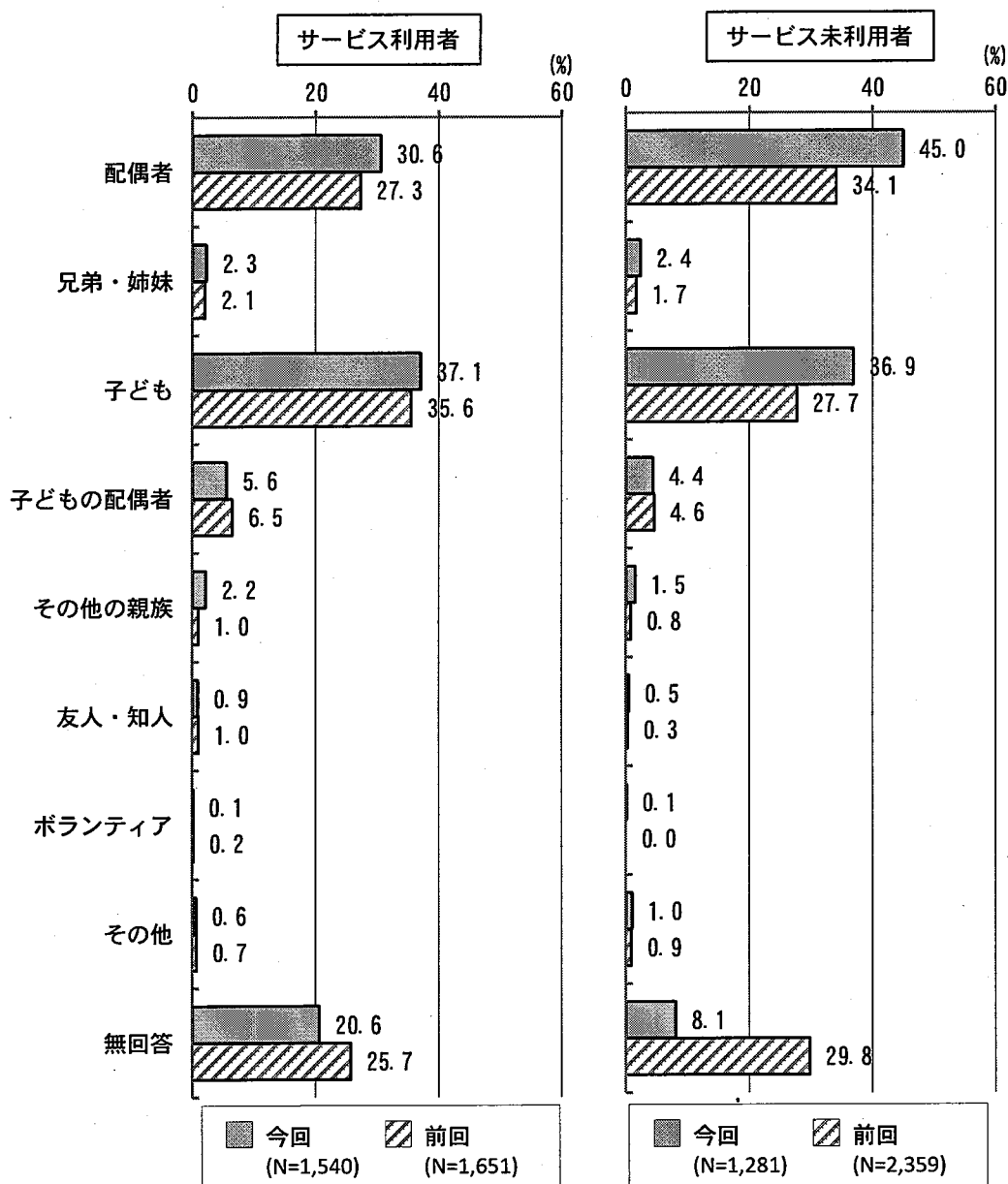
## 4 介護者調査結果

### (1) 介護者の基本属性

#### ① 本人との関係

問14(13) 主な介護者は、ご本人とはどのような関係ですか。(○はひとつ)

【図1-1 本人との関係】



本人との関係について、サービス利用者は「子ども」(37.1%)、サービス未利用者は「配偶者」(45.0%)が、それぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、サービス利用者は「配偶者」が3.3ポイント増加、「子ども」が1.5ポイント増加している。一方、サービス未利用者では「配偶者」が10.9ポイント増加、「子ども」が9.2ポイント増加している。(図1-1)

世帯の状況別でみると、サービス利用者・未利用者ともに、夫婦のみ世帯(夫婦のみで、配偶者が65歳以上と、夫婦のみで、配偶者が65歳未満)は「配偶者」が最も多く、それ以外の世帯では「子ども」が最も多くなっている。(表1-1-1)



【表1-1-1 本人との関係（世帯の状況別）】

			(%)								
		N	配偶者	兄弟・姉妹	子ども	子どもの配偶者	その他の親族	友人・知人	ボランティア	その他	無回答
サービス利用者	単身（ひとり暮らし）	397	1.5	3.5	41.8	5.3	3.5	2.5	0.5	1.3	40.1
	夫婦のみで、配偶者が65歳以上	446	76.7	0.7	9.9	1.8	0.4	0.2	0.0	0.2	10.1
	夫婦のみで、配偶者が65歳未満	40	82.5	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
	その他の世帯で全員65歳以上	102	7.8	10.8	53.9	5.9	6.9	0.0	0.0	1.0	13.7
	その他の世帯	492	14.2	1.6	56.7	9.3	2.0	0.4	0.0	0.4	15.2
サービス未利用者	単身（ひとり暮らし）	178	1.7	3.9	71.3	5.1	4.5	1.1	0.0	2.2	10.1
	夫婦のみで、配偶者が65歳以上	500	82.4	0.2	7.4	0.6	0.0	0.4	0.2	0.0	8.8
	夫婦のみで、配偶者が65歳未満	52	63.5	0.0	15.4	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	17.3
	その他の世帯で全員65歳以上	61	11.5	19.7	59.0	1.6	4.9	0.0	0.0	0.0	3.3
	その他の世帯	440	23.9	2.3	56.6	9.1	1.1	0.7	0.0	2.0	4.3

介護者の性別でみると、サービス利用者の介護者では、男性は「配偶者」が最も多く、女性は「子ども」が最も多くなっている。一方、サービス未利用者の介護者では、男女ともに「配偶者」が最も多くなっている。（表1-1-2）

【表1-1-2 本人との関係（介護者の性別）】

			(%)								
		N	配偶者	兄弟・姉妹	子ども	子どもの配偶者	その他の親族	友人・知人	ボランティア	その他	無回答
サービス利用者	男性	394	48.5	1.5	42.6	0.5	3.0	1.5	0.3	0.3	1.8
	女性	826	33.4	3.6	47.5	10.2	2.7	0.7	0.0	-0.7	1.2
サービス未利用者	男性	409	56.5	1.5	39.1	0.0	1.2	0.2	0.0	0.5	1.0
	女性	759	44.5	3.3	40.2	7.4	1.8	0.7	0.1	0.7	1.3

介護者の年齢別でみると、サービス利用者の介護者では、69歳以下は「子ども」が最も多く、70歳以上は「配偶者」が最も多くなっている。一方、サービス未利用者の介護者では、64歳以下は「子ども」が最も多く、65歳以上は「配偶者」が最も多くなっている。(表1-1-3)

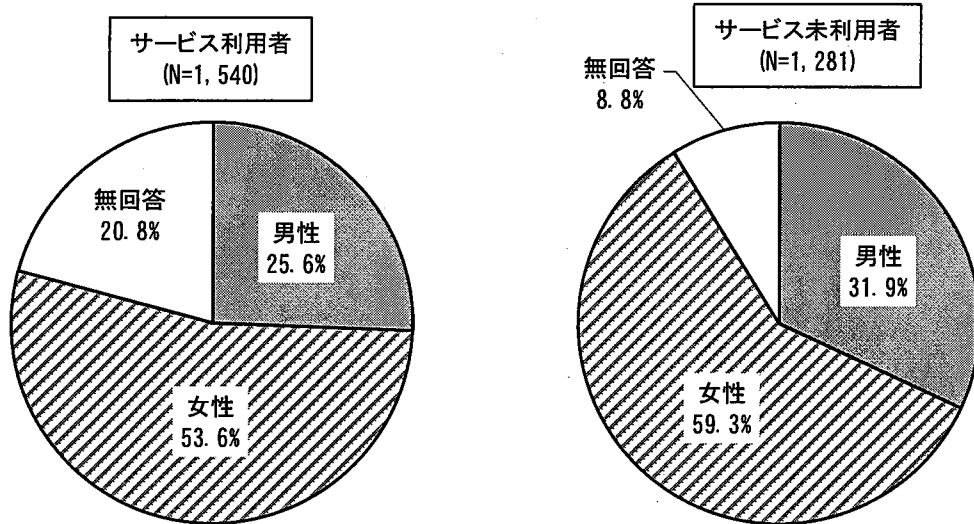
【表1-1-3 本人との関係 (介護者の年齢別)】

			(%)								
		N	配偶者	兄弟・姉妹	子ども	子どもの配偶者	その他の親族	友人・知人	ボランティア	その他	無回答
サービス利用者	49歳以下	112	8.0	0.0	72.3	9.8	7.1	1.8	0.0	0.9	0.0
	50～59歳	257	5.4	0.4	79.0	12.1	2.7	0.4	0.0	0.0	0.0
	60～64歳	184	9.8	1.1	71.7	11.4	1.6	1.6	0.0	0.5	2.2
	65～69歳	205	31.7	2.9	53.7	8.8	2.0	0.0	0.0	0.5	0.5
	70～74歳	123	65.9	9.8	15.4	0.0	4.1	0.8	0.8	0.8	2.4
	75～79歳	144	84.0	2.8	3.5	1.4	2.1	1.4	0.7	2.1	2.1
	80歳以上	195	81.5	5.1	5.6	1.5	2.1	1.5	0.0	0.0	2.6
サービス未利用者	49歳以下	109	2.8	1.8	74.3	11.9	5.5	0.9	0.0	0.9	1.8
	50～59歳	236	5.9	0.4	80.9	11.0	1.3	0.4	0.0	0.0	0.0
	60～64歳	155	18.1	1.9	69.7	8.4	1.3	0.0	0.0	0.6	0.0
	65～69歳	146	45.9	1.4	45.2	2.7	2.7	0.7	0.0	1.4	0.0
	70～74歳	137	83.2	5.1	8.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	1.5
	75～79歳	163	90.2	4.9	2.5	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6	0.6
	80歳以上	227	87.2	3.1	3.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.9	4.8

② 介護者の性別

問15(14) 主な介護者の性別、年齢、居住地についておたずねします。(それぞれ○はひとつ)

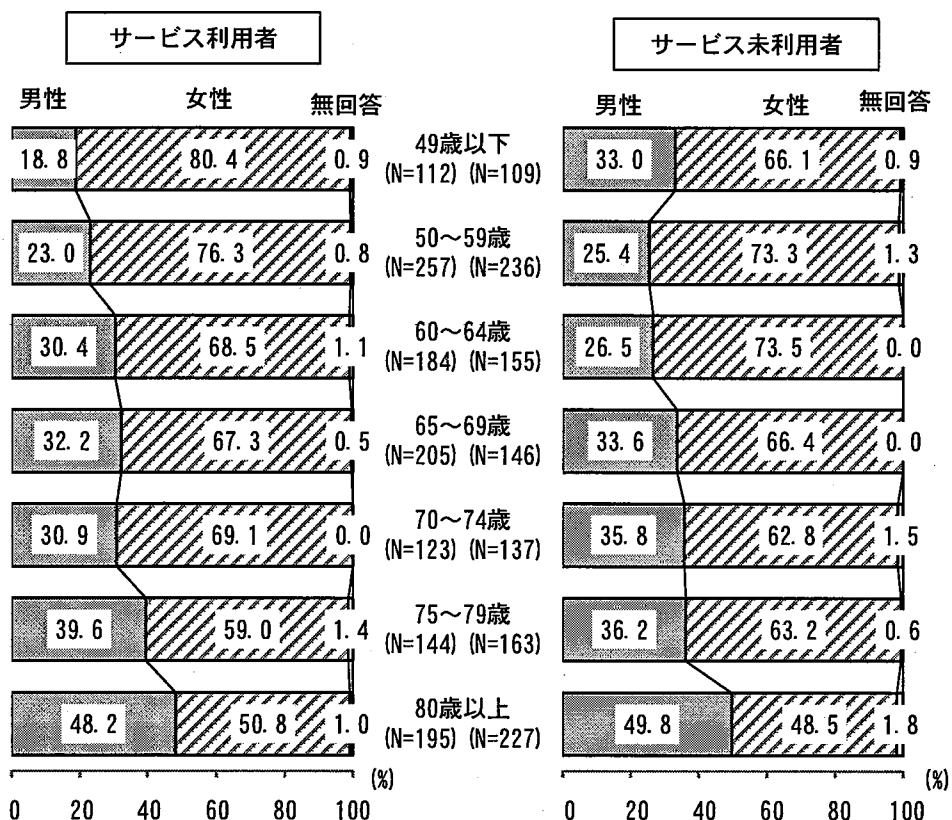
【図1-2 介護者の性別】



介護者の性別について、サービス利用者では、「男性」が25.6%、「女性」は53.6%となっており、サービス未利用者では、「男性」が31.9%、「女性」は59.3%となっている。サービス利用の有無に関わらず、介護者は「女性」のほうが多い。(図1-2)

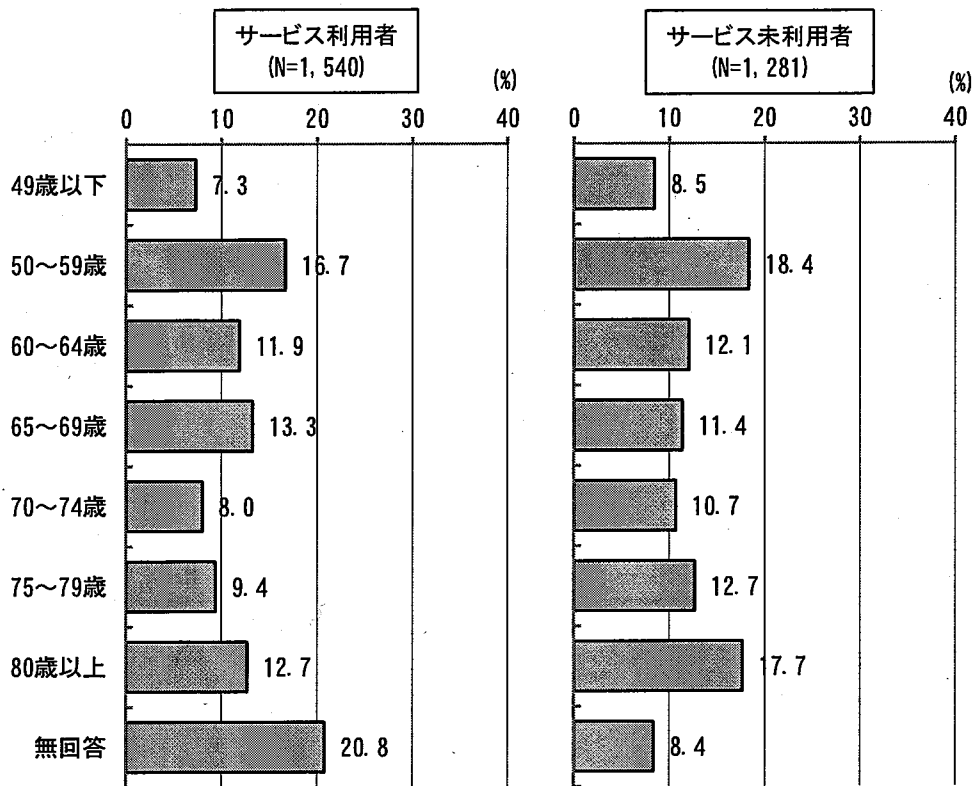
介護者の年齢別でみると、サービス利用者の介護者では、各年齢で「女性」のほうが多くなっているが、高齢になるほど「男性」の割合が上昇傾向にある。一方、サービス未利用者の介護者では、79歳以下は「女性」が過半数を占めているが、80歳以上になると男女ともに約半数となっている。(図1-2-1)

【図1-2-1 介護者の性別 (介護者の年齢別)】



### ③ 介護者の年齢

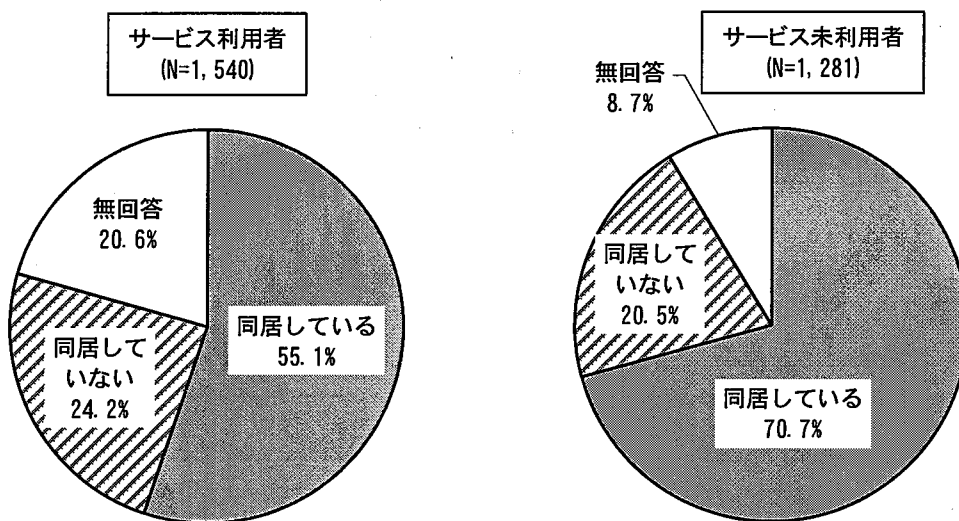
【図1-3 介護者の年齢】



介護者の年齢について、サービス利用者の介護者は「50~59歳」が16.7%で最も多く、次いで「65~69歳」が13.3%、「80歳以上」が12.7%となっている。一方、サービス未利用者では「50~59歳」が18.4%で最も多く、次いで「80歳以上」が17.7%、「75~79歳」が12.7%となっている。(図1-3)

④ 同居の有無

【図1-4 同居の有無】



介護者の居住地について、サービス利用者の介護者は「同居している」が55.1%、「同居していない」は24.2%となっている。一方、サービス未利用者の介護者では「同居している」が70.7%、「同居していない」は20.5%となっている。(図1-4)

要介護度別でみると、サービス利用者・未利用者とも「同居している」が、要介護度に関わらず多くなっており、サービス利用者は要介護1～5で5～6割台を占め、サービス未利用者では各要介護度で過半数を占めている。(図1-4-1)

【図1-4-1 同居の有無 (要介護度別)】

